

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

人事

大学は企業に学内セミナーの充実望む 経団連の採用選考指針の手引き改定で

経団連は昨年9月、採用選考活動の開始時期を2016年度入社予定者以降から見直す大幅な「後ろ倒し」日程を発表し、大学や学生をあわてさせた。就活期間が短縮された分、大学からは、キャリア教育の充実に向けて行われる学内セミナーの取り扱いについて、これまで以上に企業の協力を求める声が高まっている。そこで学内セミナーについて、経団連は「採用選考指針手引き」の内容を見直すことにした。大学が行うキャリア教育に協力していくことは従前通り。しかし秩序ある採用選考活動の実現に向けて、例えば、採用関係のホームページ上での表明やインターンシップ、あるいは会社説明会における口頭での説明など指針遵守の姿勢を学生に分かりやすく示すよう協力を要請した。経団連の本意は、採用目的の広報活動としての「企業説明会」とは明確に区分して行い、健全な運用の徹底することだ。

協力要請は、学内セミナーで企業等に採用予定数、選考スケジュール、採用募集告知等を禁止する旨、事前に講師にも明示し、実施時の運用徹底の条件を掲げた。①運営にはキャリア教育の責任者(副学長など)を立て②参加対象者は就職活動該当年次に限定せず全学年を対象③学内セミナー参加者リスト等の個人情報企業等側に提供しない④必ず教職員の立会いの下で実施する一などを手引きの改定項目とした。企業・大学双方に公平さを求める当然の改定だ。

税務会計

NISA、6月末で727万口座に 目立つ20~30歳代での利用増加

金融庁が発表したNISA(少額投資非課税制度)口座の利用状況等調査結果によると、6月30日現在のNISA総口座数は、今年3月末から11.8%増加し727万3667口座にのぼることが明らかになった。調査は、同庁が銀行や証券会社などNISA取扱全金融機関717法人を対象に実施したもの。

口座の開設数を年代別にみると、「60歳代」が構成比28.2%で最多、「70歳代」同22.2%、「50歳代」同16.8%、「40歳代」同13.2%と続く。しかし、3月からの増加率では、「20歳代」が20.9%増と最も高く、次いで「30歳代」が18.7%増と、若者世代の増加が目立つ。

また、NISAによる個人投資家の投資額は6月末時点で1兆5631億円と、3月末から55.8%増加して1兆5000億円を超えた。年代別にみると、「60歳代」が構成比32.5%で最多、「70歳代」同24.3%、「50歳代」同16.4%、「40歳代」同11.0%と、口座の開設数の順位と変わらない。しかしここでも、3月からの増加率でみると、「20歳代」が70.3%増と最も高く、「30歳代」65.5%増と続き、20~30歳代の若者世代の投資額の拡大が目立った。

なお、商品別内訳は「投資信託」が1兆395億9973万円で全体の66.5%を占め、次いで「上場株式」が4949億1494万円で31.7%のほか、「ETF」(上場投資信託)は140億2979万円、「REIT」(不動産投資信託)は145億7785万円とともに0.9%に過ぎない。

今週のキーワード

学内セミナー

企業等の協力を得て取り組む学内行事のこと。学内セミナーの例＝学生の業界研究等に資するため、OBなどを含む企業関係者の協力を得て、通常講義が行われる時間帯に大学構内で実施するセミナー形式のもの。但し、採用予定数や選考スケジュールなどの採用情報を広く学生に発信するための説明会等はルール違反。使用資料の制限、個別企業等と学生の接触の制限など「制限項目」を増やした。